

府民の森ほしだ園地園地探鳥会(第4土曜日両園地通算第298回)

令和7(2026)年1月24日(土)9:30~14:30頃 日本野鳥の会大阪支部

友田武・神戸徹・新名泰博・吉山 晃・(平 軍二 (090-6901-1425))

I 交野の鳥シリーズ (143) ハヤブサ

ほしだ園地のハヤブサ、2005年より繁殖していたが(交野野鳥の会30年のあゆみ:2010年発行)、2019年以降繁殖しなくなった。

そこで交野野鳥の会会長名(神戸徹氏)で、大阪府へ営巣個所の雑木伐採を申し入れた。伐採されたものの、ハヤブサのお気に召さないようでその後も営巣行動は見られていない。

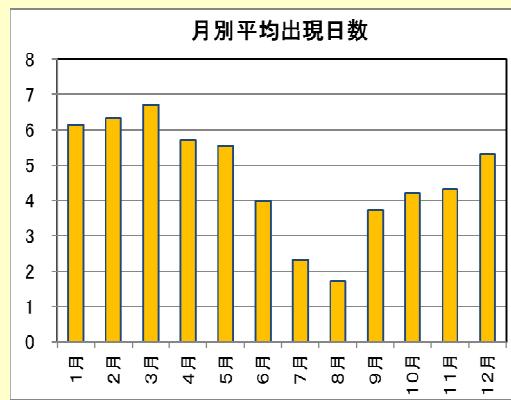
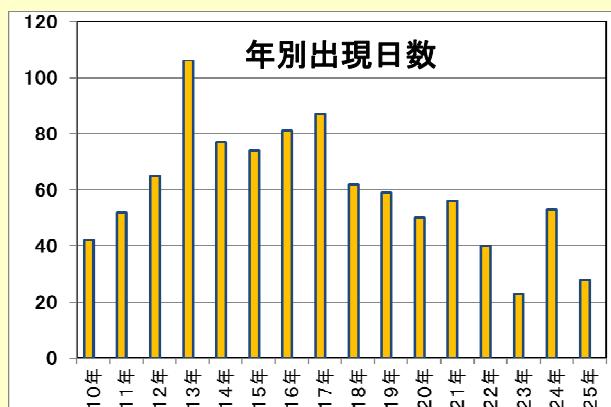
2026年に入つて1/7, 1/10に、河村壽氏により営巣地周辺で、ハヤブサの雄雌が確認されたので、今月の鳥として紹介する。



I ②交野市のハヤブサ (友田武氏集約)

友田武氏は交野野鳥の会の会員の方が、交野市内

で観察された野鳥について、毎日集約されており、ハヤブサの観察日数は下図の通りである。上記の通り2019年以降繁殖していないこともあり、年別出現日数は減少している。月別平均出現日数は繁殖期の冬から春(12月~5月)に5日/月を超えているのは、毎年繁殖準備行動に入っているためと推定している。

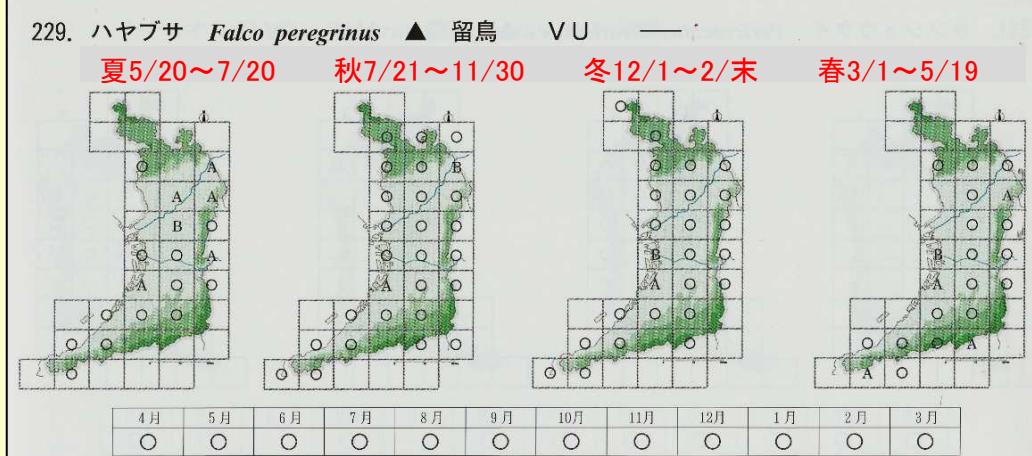


I ③大阪府ハヤブサ 大阪府鳥類目録2016

繁殖期(春及び夏)のAランク地で、一般の人が観察できるのは泉大津市のホテルと、ほしだ園地です。

泉大津の個体は「泉大津ハヤブサ・サポート俱楽部」の方がしっかり調査されています。

ほしだ園地は交野野鳥の会「河村壽氏」が写真で記録して



下さっています。2026年、繁殖してくれるといいのですが、どうでしょうか。

I ④全国鳥類繁殖分布

鳥類分布調査会2021

北海道から九州の平地から山地に留鳥として分布し、海岸や山地の断崖で繁殖する。都市のビルなどの人工物で繁殖することもある。

記録メッシュ数は1970年代から1990年代の間に大幅に増加し、2010年代もさらに増加した。1990年代と2010年代でほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録を見ても、ハヤブサが記録できた地点数は、30地点から41地点へと増加していた。

ハヤブサ 分類:ハヤブサ目ハヤブサ科 Peregrine Falcon *Falco peregrinus*

全長:♂35~40cm ♀45~50cm 翼長:♂305~333mm ♀348~378mm ふく長:♂43~48mm ♀52~57mm 体重:♂500~680g

環境省レッドリスト:絶滅(亜種シマハヤブサ)、絶滅危惧II類(亜種ハヤブサ)

各年代の分布状況の変化

メッシュ数	A	B	C
1974~1978	6	10	29
1997~2002	36	19	45
2016~2021	54	39	67

調査地数

1997~2002 30

2016~2021 41

1974~1978

1997~2002

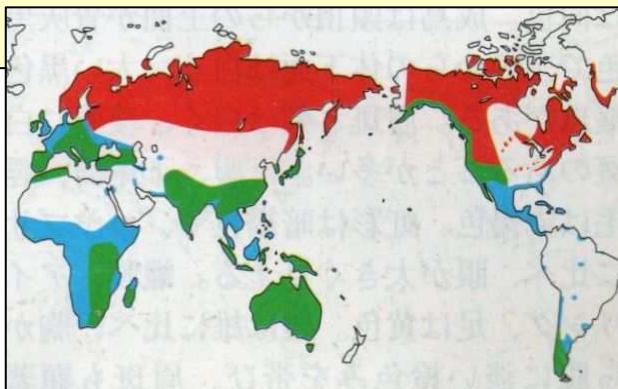
2016~2021



I ⑤世界のハヤブサ分布図 →

真木・大西 日本の野鳥590 2000年 平凡社

ハヤブサは分布が広く南極大陸とニュージーランド・ハワイ諸島など、一部の諸島を除いて全世界に20亜種が生息する。日本では主要四島及びその周辺で繁殖し、一部が冬季に短距離移動を行う程度で、本格的な渡りはしない。(Bird Research News 2008.12.22)



I ⑥河村壽氏のハヤブサ写真(再録)



ハヤブサ空中給餌(20230311)
(残念ですが、繁殖行動に入らず)

I ⑦「森のハヤブサ」ナニワの空に舞う

(著者:与名正三 2011年2月 東方出版)

与名正三氏は当時生駒市在住、撮影のフィールドであった生駒市高山の里にハヤブサが度々出現し、高山周辺でハヤブサ繁殖地を探したが見つからなかったが、友人である鳥類研究者の仲津弘氏の協力で、ハヤブサが交野市ほしだ園地にハヤブサが繁殖しているとの情報を得ることが出来たそうです。

それから6年間、約400日に渡りハヤブサの行動を記録した結果を集約されたのが、「森のハヤブサ」ナニワの空に舞う です。



*Falcon
in the Forest*
Photo & Explanation by Shozo Yona

ISBN978-4-86249-172-5
C0645 ¥1500E

9784862491725

定価 (本体1,500円+税)

1920645015001



Ⅱ①先月(12月27日)くろんど園地探鳥会

快晴で寒い一日、冬鳥が来ている筈と期待してスタートした。しかしスタート地点～山地の遊歩道に鳥は少なく、ヒヨドリとハシブトガラスの声が中心でした。くろんど園地に入って「貯水ダム」周辺に多いオオバヤシャブシの実は例年マヒワ・アトリが来ている所、期待していたが全く姿は無かった。幸いダム池にいたオシドリが確認(1羽)できた。園地内の「八つ橋」はラクウショウの林、鳥は出なかったが、**リスが八つ橋**を歩いてくれたので、よく観察できた。

くろんど園地駐車場近くで、**遠くの木にイカル**がいるのが確認され、今日の探鳥会で唯一ゆっくり全員が観察できた種となった。園地出口ゲートからいつもは行かない右側へ、「傍示峠」を越え、奈良県(生駒市)側の里地(田んぼ)で鳥を捜したが、草むらにアオジがいたのみであった。通常コースへ戻り「傍示集落」の棚田でも鳥は出ず、下りの山道でもヒヨドリの他は声のないまま終点の天田神社についた。今日の資料に載せたジョウビタキや、ツグミの冬鳥、留鳥のエナガも観察できず観察種数は21種にとどまり、しかも1羽しか観察できなかつた鳥が8種もあり、**鳥をほとんど見ないハイキングの一日**となった。

鳥が少なかったこともあり、コース内で採取した木の実について、鳥との関係を説明し終了とした。

また鳥とは関係ないが、くろんど園地内では多数のランナーに出会ったが、園地事務所付近にスタート地点が設置されていた。舗装されていない所を走るトレイルランニング『くろんど輪舞曲(ロンド)トレイルラン 2025 冬』が開催されていたことがわかった。



Ⅲ 2月くろんど園地探鳥会 2026/2/28 (土) 9:30私市駅前

今月と同じように、大阪支部HPのホームズ様式からお申し込みください。昨年2月のくろんど園地探鳥会では、ルリビタキやクロジが出てくれました。今年はどうでしょうか。



V 探鳥会記録（くろんど園地・ほしだ園地）

科名	種名	鳥類目録 8版 回数 No	年 月 日	2024			2025			2026			鳥類目録 8版 No	科名	種名	鳥類目録 8版 回数 No	年 月 日	2024			2025			2026			鳥類目録 8版 No
			12 28	1 25	2 22	3 22	12 27	1 24	2 28	3 28	12 28	1 25	2 22	3 22	12 27	1 24	2 28	3 28	12 28	1 25	2 22	3 22	12 27	1 24	2 28		
			くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ	くろん ど	ほし だ			
カモ	ハクチョウSP	17																								17	
カモ	オジドリ	21																								21	
カモ	ハシビロガモ	26																								26	
カモ	オカヨシガモ	27																								27	
カモ	ヨシガモ	28	48																							28	
カモ	ヒドリガモ	29	5																							29	
カモ	カルガモ	32		6		3																				32	
カモ	マガモ	33		1																						33	
カモ	コガモ	35																								35	
カモ	ホシハジロ	39																								39	
キジ	ヤマドリ	63																								63	
キジ	キジ	64																								64	
アマツバメ	アマツバメ	68																								68	
アマツバメ	ヒメアマツバメ	70																								70	
カッコウ	ホトトギス	80																								80	
カッコウ	ツツドリ	82																								82	
トト	キジバト	89	1	5	1	1	1	1																	89		
トト	アオバト	93	1					3																		93	
クイナ	パン	100																								100	
クイナ	オオバン	101	24																							101	
カツアブリ	カツアブリ	117	1			1																				117	
チドリ	ケリ	128																								128	
チドリ	コチドリ	135																								135	
シギ	タマシギ	141																								141	
シギ	タシギ	189																								189	
シギ	インシギ	188																								188	
コウノトリ	コウノトリ	306																								306	
ウ	カワウ	315			1	1																				315	
サギ	ヨイサギ	328																								328	
サギ	ササゴイ	330																								330	
サギ	アオサギ	333		1																						333	
サギ	ダイサギ	335																								335	
サギ	コサギ	337																								337	
ミサゴ	ミサゴ	343																								343	
タカ	ハチクマ	344																								344	
タカ	ツミ	352																								352	
タカ	ハイタカ	353					1																			353	
タカ	オオタカ	354																								354	
タカ	トビ	359		2		5																				359	
タカ	サンバ	363																								363	
タカ	ノスリ	366		1																						366	
カワセミ	カワセミ	384	1	3		1																				384	
キツツキ	コグラ	390	3	1	3	3	2																			390	
キツツキ	アカグラ	394																								394	
キツツキ	アオグラ	398				1																				398	
ハヤブサ	ショウジョウボウ	402																								402	
ハヤブサ	ハヤブサ	407				1																				407	
サンショウクイ	サンショウクイ	411																								411	
サンショウクイ	ヨウキョウウツコウ	412																								412	
カササギ	サンコウチョウ	418																								418	
モズ	モズ	425				1																				425	
カラス	カケス	427																								427	
カラス	ハシボソガラス	435	1	1			17	2																		435	
カラス	ハシブタガラス	436	13	7	10	6	12																			436	
レンジャク	キレンジャク	438																								438	
レンジャク	ヒレンジャク	439																								439	
シジュウカラ	ヒガラ	440																								440	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	5	1			5																			442	
シジュウカラ	コガラ	445				1	3	1	2																	445	
シジュウカラ	シジュウカラ	447				1	3	1	2																	447	
ヒドリ	ヒヨドリ	458	24	20	5	12	32																			458	
ツバメ	ツバメ	461					5																			461	
ツバメ	イワツバメ	462																									462
ツバメ	コシアカツバメ	463																								463	
観察種数合計												28	28	19	29	21											
個体数												208	150	95	117	89											
天候												晴	晴	曇	晴	晴											
参加者												19	18	12	18	15											